

会 議 録

1 会議名

平成27年度第17回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

新水族博物館の検討状況について（公開）

公の施設使用料の減免制度の見直しについて（公開）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

平成28年3月16日（水）午後5時00分から午後7時37分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 多目的ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 増田和昭（会長）、青山恭造（副会長）、竹内明美（副会長）、
池田伸吾、泉 秀夫、伊藤邦雄、今井不二子、小林克美、佐藤光司、
田村利男、田村雅春、冨塚 毅、中澤武志、福島 弘、町屋隆之、
丸山朝安、三上正子
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任
新水族博物館整備課：大瀧課長、横手副課長

8 発言の内容

【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【増田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：池田委員、泉委員に依頼

議題【報告事項】新水族博物館の検討状況について、担当課へ説明を求める。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

- ・挨拶
- ・資料No.1に基づき説明

【増田会長】

全体を通して、意見、質問等を求める。

【田村雅春委員】

一つ目に、資料No.1の8ページ目の「(1) 周辺道路の整備」の④の表示場所だが、道路が切れているような気がするがどうか。

二つ目は、駐車場から海岸道路へ向かう道路整備は全く考えていないのか。

三つ目は、資料1-3の2ページ目の「(1) 基本的な考え方」の『④その他 誘導員を配備するなど、安全確保と円滑な誘導を図る体制を整える』とあるが、開館時間内は常時対応するのか。

四つ目は、地域協議会の研修で観た新潟市のマリンピア日本海のように、駐車場から水族館へ行く時の動線に、雨対策や風対策のためのアーケードを設けることは考えていないのか。

以上、四点について教えていただきたい。

【増田会長】

関連する質問が他にあれば挙手願いたい。

【池田委員】

雨対策の件について、水族館の場所は雨や風が非常に強い。傘があっても意味がない。資料1-3の2ページ目の地図に赤線で動線が書いてあるが、この間はどのような対策を取っているのか。

また、資料1の8ページだが、エルマール前のバス停留所から出て、海方面へ行くところの交差点は、全く雨対策が考えられていない。バス停留所で降りた方々が信号待ちの際、簡単な雁木等がないと雨や風が強い時は大変だと思う。

【青山副会長】

関連で、施設周辺道路の整備について、先ほどの田村雅春委員の話に出た資料No.1の8ページの④水族館大通線のS字カーブ付近で、東側へ通じる道路と交差するT字路で、車が一時停止する時がある。拡幅した場合、カーブミラー等の設置もないことから、スピードを出す車も出て来て危険なため、カーブミラーの設置も必要になってくる。また、その先、北に向かったの道路は歩道も含め、拡幅する予定なのか。

そして、第2駐車場の西側入口の場所は、直江津中等教育学校の父兄が子どもの送迎で停車する場所なので、渋滞が起きてしまう。そして、子どもたちがグラウンド側から直江津中等教育学校の校門前まで横断する際、安全義務のため通行車は一旦停止をしなければならない。渋滞対策を考えれば、子どもたちにはその先の横断歩道を利用するように指導をお願いできないか。

もう一点。③旧信越化学のアパート側から東側に抜ける狭い道路だが、現在の状況から歩道と右折車線を整備するには、どちらかの土地を削る必要があると思うが、どのくらい拡幅するのか。

それと、先ほどの池田委員の話で、新しい第4駐車場からグラウンドの方へ降りてくる階段があるが、その道は近隣住民の生活道路なので、降りてきた際、車が通っていると大変危険である。なので、歩行者が飛び出してこないようにガードレール等が必要だと考える。その辺はどうなのか。

それと、海に向かう車と、南へ向かう車がすれ違い出来るのかどうか。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

まず、資料1-3の2ページ目の歩行者通路について、誘導員を常時配置するのかという質問だが、繁忙期の開館から閉館までは基本的に常時配置する。第1駐車場から順番に駐車してもらうので、使っている駐車場には常時、誘導員を配置する。従って、第3駐車場、第4駐車場を使う際には、安全配慮とおもてなしの心が大切だと思っているので、そこは適時適格に誘導員を配置したい。

次に、雨対策についても重要だと考えている。全ての通路に雁木やアーケードを付けることについて、専門の設計者に意見を聞いたところ、アーケードは、現実的に、上から降ってくる雨には非常に有効だが、海沿いの強い横風を伴う雨風になるとあまり有効ではないという意見だった。比較的遠い第4駐車場は、アーケードを設けるよりも、シャトルバスのようなもので送り迎えをしたほうが、おもてなしの心としては良いのではないか、ということで対応を考えている。

次に、資料No.1の8ページの④番目の部分だが、細かな道まであることは承知しているが、縮尺が小さいので、道の記載を省いている部分もある。④については、南北に走る「水族館大通り線」、直江津中等教育学校の前からイトーヨーカドーに抜ける道が表示されているが、地図上で細かい道は省略しているものもある。南北のS字カーブになっているところは、可能な限り真っ直ぐにして、安全対策を施すということで御理解いただきたい。

次に、国府へ抜ける道路についてだが、都市計画道路に入っている計画路線なので、市全体の都市計画道路の整備計画内で優先順位を付け、順番に行っているので、市の全体の整備の中で整備されるものだと御理解いただきたい。

次にS字カーブの所にカーブミラーを設置したらどうかという質問だが、カーブミラーは交通安全の道路の基準があり、曲がりくねった場所には必要だが、カーブミラー不要となるよう整備したいと考えているので、今のところカーブミラーの設置は考えていない。ただ、場合によって、整備後に必要であるということであれば、交通安全の観点から警察や道路課と協議をし、適切に対応したいと考えている。

次に、S字カーブをどれくらい拡幅するか、ということだが、直江津中等教育学校前の道路は、歩道を含めるとかなりの広さがある。その幅のイメージで、イトーヨーカドーの交差点まで延伸する。片側一車線というのは変わらないが、車も歩行者も比較的ゆったりと通行や歩行できるような整備を考えている。

【青山副会長】

S字カーブの所が2m拡がるということか。

【新水族館整備課：大瀧課長】

そうである。

【青山副会長】

北へ向かってその先も同様に拡げるのか。

【新水族館整備課：大瀧課長】

車両通行帯はほとんど変わらないが、歩道は今よりも広がる予定である。

【青山副会長】

子どもたちが校門前の道路を横断する点についてはどうなのか。

【新水族館整備課：大瀧課長】

その点について直江津中等教育学校と協議をしているが、学校側からは、子どもたちが安全に通れるように信号機を付けてくれないかとの要望がある。

【青山副会長】

少し海側へ行けば交差点があつて、信号機があつて、歩道もある。

【新水族館整備課：大瀧課長】

いろいろな要望があり、どれが一番良い方法なのか悩むところだが、「交通安全」ということが一番大事だと思っている。交通安全のためには、運転する人の気持ち、歩行者、渡る人の気持ち、それぞれルールを守って、お互いがお互いを尊重することが大切かと思うが、皆様へは、次代を担う子どもたちの将来を考えて多少歩み寄っていただきたい。

【青山副会長】

車がイトーヨーカドーから海側へ走り、第2駐車場に入る際は、右折しなければいけないが、そこで渋滞になると思う。その点はどうか。

【新水族館整備課：大瀧課長】

水族館大通線に面している場所は出口専用になっている。誘導員を配置し、無理な右折をしないようルールを守っていただきたいと思っている。

【青山副会長】

それを直江津中等教育学校へも申し入れしておいていただきたい。

【新水族館整備課：大瀧課長】

承知した。

次に、③水族館五智2丁目線の直江津中等教育学校と水族館側の道路をどれくらい拡幅するかだが、今、車道が1車線で対面通行だが、今の水族館側へ拡幅し、安全対策のため北側にきちんとした歩道を整備し、右折レーンも設け、渋滞緩和対策を考えている。

次に、第4駐車場からの歩行者通路の安全対策については、警察や市の道路課で協議し、危ないと思われる所には「止まれ」の表示をするなどの安全対策を行う。そして、繁忙期には、誘導員を配置し、来館者の車、住民の皆さんも生活道路として通るので、それぞれ、交通安全には万全を期していきたいと考えている。

【小林委員】

先ほど、青山副会長が言われた第4駐車場からグラウンドのほうへ降りてきた所のガードレール等についてだが、資料No.1-3の2ページ目に「フェンス」と書いてある。それに対応できるのではないか。

【新水族館整備課：大瀧課長】

小さなお子さんが一気に階段を下りてきて、その勢いで道路に飛び出さないか、ということだと思うが、必要であれば誘導員を配置して危険のないように誘導したいと考えている。

【泉委員】

今の話は、階段を下りてきて、すぐに道路になるから、フェンスや誘導員を整備することだと思うが、通常は階段と道路の間に緩衝地帯を造れないかということだと思う。

【新水族館整備課：大瀧課長】

適正な幅は取ってある。

【田村雅春委員】

先ほど申し上げたように、新潟市のマリンピア日本海のように、駐車場から水族館へ行く時の動線に、雨対策や風対策のための簡単なアーケードでもいいから付けて欲しい思いがある。第4駐車場を使うのは、5月の連休や夏場の時期だと思う。強風は少ないかもしれないが、雨の問題が非常にあると考えられるので、それくらいのおもてなしの心が必要ではないかと思ったので質問した。

もう一つは、先ほど、誘導員を繁忙期に配置するという答えだったが、対象者は、若い方たちやお子さんが多いと思う。そうすると、子どもは親御さんの手を放して行ってしまうかもしれないので、出来る限り、誘導員を配備してほしいというのが希望である。

【小林委員】

横浜八景島が指定管理者になってからは、常時、誘導員が整備されている。

【新水族館整備課：大瀧課長】

マリンピア日本海のアーケードのように、確かに、無いよりは有るほうが良いと思う。強風対策で100点満点の対策はなかなか困難であると考えているのが、いろいろな水族館を見た中で、もっと良い方法がないかどうか、今後、費用対効果を踏まえ、駐車場の利用状況を見ながら検討していきたいと考えている。

そして、誘導員についてだが、駐車場を使っていない時は閉鎖し、そこには配置しない。駐車場を使っている時は、可能な限り誘導員を配置し、安心いただく中で、おもてなしの心でお迎えしたいと考えている。

【池田委員】

第4駐車場から水族館の行き来でシャトルバスを利用するにしても、階段を降りてきた場所で待っている時や、イトーヨーカドー近くの信号待ちの時、雨に当たるので、その辺は屋根を付けたほうが良いと思う。買収の問題等いろいろとあると思うので、優先順位を考えていただきたい。イトーヨーカドー近くの信号待ちの整備は重点的に考え、早めに整備していただきたい。

【新水族館整備課：大瀧課長】

地元で暮らしている方々からいただいた御意見というのは、大変貴重だと思っているので、整備費用のことも考え、優先順位を付けて、できるだけ早い時期に皆様の御意見に添うように頑張っていきたいと考えている。

【田村利男委員】

資料No.1の9ページ目の「①検討経過」の『平成27年9月、イトーヨーカドー前の歩行者専用押しボタン式信号機と御館交差点の信号機が連動するよう試験運用を行うなど、上越警察署と協議する』とあるが、一時、二つの信号機は連動していたが、二月の終わりか三月の始め頃から元に戻ってしまい混乱している。せっかく連動するようにしたのに、何故、元に戻ってしまったのか。「試験的に」と言われればそれまでだが、私は、考えたほうが良いのではないかと思う。

【町屋委員】

先ほどのやり取りで納得いかない部分がある。青山副会長が提議されたグラウンドから直江津中等教育学校へ行く道のことである。先ほど、「横断歩道をどうするのか」という話で、「子どもたちのために」という意見と、「海側の横断歩道を渡ったらどうか」という意見だったが、それを言い出したら、これから先、その道路が渋滞するのは目に見えていて、何年か後に事故が起こるようなことがあれば、今日のこの会話は何だったのだろう、となってしまう。そのため、その場所は、押しボタン式信号機を設置するか、設置しないのであれば、現状の横断歩道が危ないのは分かっているのだから、校門前の横断歩道は廃止して、海側だけの横断歩道にするしかない。これから渋滞し、危険になると分かっている場所を放置するというのは、この議論があった以上は、まずいのではないかと思う。きちんと対策を練らなければいけない。

【小林委員】

資料No.1の8ページの図の「②市道 三交直江津五智環状線」だが、今でも大型ダンプが頻繁に通る、歩行していると威圧感や恐怖を感じる。そこへ2mの歩道を整備した

場合、海側へ拡幅するならいいが、現状のままの幅員を2 m取ると、非常に不安を感じる。担当は道路課だと思うが、設計的に大型ダンプや観光バスが走行しても、余裕があるのか。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

まず、イトーヨーカドー前の信号機の件だが、確かに信号機の連動を調整したことはある。警察で調整するのだが、元々設置した時、信号機同士が近いので連動するようになっていたとのこと。それが地元の皆様の要望を受け、歩行者を最優先にし、歩行者が押したらすぐに変わるように設定し直した。警察へ聞いたところ、全ての信号機は基本的に連動しているシステムのようなのだ。これまでは、手動で切り替え、例外的な処置をしている。警察は安全が一番であるということ。私たちも安全が一番を考えている。その次に利用者の利便性も同じくらい大事だと思っているので、皆さんの意見をお聞きしながら、調整方法も含め、研究を継続していきたいと思っている。

次に、直江津中等教育学校前の横断歩道の問題についてだが、町屋委員の発言はそのとおりで、水族館の繁忙期には、水族館利用者が一番利用すると思うが、地域の皆さんの生活道路でもあるので、道路の整備という観点で、市役所の道路部局の専門部署とよく協議をし、地元の皆さんの声を聞きながら研究を継続していきたいと考えている。

次に、海側の道路についてだが、実際に、海側へ拡幅するほど土地に余裕はないので、今現在の中で出来る限り広げ、歩道も車道と区分けをする予定である。道路管理者から話を聞くと、スピードを出さないような区画線を引く方法もあるとのこと。山間地の狭い道路へ行くと、道路幅が狭く見えるような視覚的な効果で、スピードを出させないような白線を引いたりしている。道路拡幅をせず、現状のままスピードを出さないような白線の引き方や視覚の効果で配慮したいと考えている。現地で道路管理者と実際の状況を見て、場合によっては大型車両の通行を制限し、繁忙期には配置する予定の誘導員から運転手へ注意喚起やチラシ等を配付する方法など、今出来る範囲で対応したいと考えており、中・長期的には、海側の道路が現在、都市計画道路に認定されており、幅員が広い幅で計画されているので、開館までに整備を完了するということとは言えないが、市内全体の都市計画道路の優先順位の中で、御心配がないように中・長期的な課題として研究を継続していきたいと考えている。

【小林委員】

虫生岩戸付近でダンプを止めて、旧国道8号線を迂回道路として使うと、今度は街中

が危険になる。水族館前の道路を通るダンプは港へ行くダンプが多い。かなりの台数が通るので怖いと感じる。

【町屋委員】

先ほどから出ている雨対策については、ここにいる全員が同じ気持ちだと思う。先ほどの回答の中で、冬場の嵐を伴った雨の時は、第4駐車場を使わないであろうということ。たぶん、水族館が開館してから2、3年はかなり混雑すると思う。ただ、夏場は不意の雨の日が多い。オープニングシーズンではない普通のシーズンの雨の日は、来館者が増えるのは間違いない。そういう時は不意の雨なので傘を持っていない人が一杯いると思うので、意見を受け止めていただいて検討していただきたい。

もう一点は、先ほどから交通の件が出ているが、イトーヨーカドーの前だが、バス停もあり、駅から来る人もそこが通り道になる。第四銀行の前の交差点で信号待ちをすると思うが、今でも数人しかいられないような狭い場所である。これから水族館が出来て、直江津に降りた時のゲートウェイになるので、そこは整備の中に組み入れていただいて、バス停から歩いて水族館へ向かう方たちのためにも、是非検討していただきたい。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

地元で日々、気候を感じている地元の皆様の意見は貴重であると思っている。雨対策は大切なことであり、皆さんから意見を聞き、どういった形がいいのか、まさしくおもてなしの心で、「上越の水族館に来て良かった」と口コミで拡がり、さらにお客さんを呼べるようにしたいと考えているので、道路管理者も含めて関係者と研究を継続していきたい。

次に、第四銀行前の交差点については、直江津中等教育学校の生徒等の通学路になっているので、水族館整備が一つのきっかけになると思うが、通常の通学路・生活道路として、道路管理者と協議し、まずは「安全第一」という観点で進めていきたいと考えている。

【小林委員】

日本海に沈む夕日の美しさは良いが、今の水族館の展望台から妙高山、火打山、焼山が綺麗に見える。新しい水族館は、南側に展望台があるのか。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

今のように、360度見渡せる展望台は設けていない。全部は見えないが夕日を眺める所は設けてある。

【田村利男委員】

資料No.1の1ページの「①日本海を打ち出す、日本海を生かす水族博物館」に『美しい夕日を楽しむことが出来る』と書いてあるが、1年に何回くらい、図のようなきれいな夕日を見ることが出来るのか。分からなければ答えなくても結構である。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

天候は調べており、30年間勤務していた職員へも聞いたが、そう多くはないと聞いている。当然、夕日を見られない日もあるので、現在考えているのが、夕日の映像や写真等、デジタル機器を利用して、快晴時の夕日はこんなに綺麗なのだという仕掛けを考えたいと思っている。設計会社や展示会社の方々は、関東方面の方が多いのだが、もちろん夕日は綺麗だが、冬の荒れる日本海も良いという意見も聞いている。夕日が見られなかったら、映像や写真で見てください、想像を膨らませていただき、再度、夕日が見られる時に来ていただく。そういった効果でリピーターが増えてくれれば良いと考えている。

お答えになるか分からないが、市民の皆さんが撮った綺麗な写真を提供していただくとか、身近で暮らしている方は、美しい夕日が見られるスポットや時間等を存じていると思うので皆さんから知恵を借りたいと思っている。

【今井委員】

資料No.1-2についてだが、3ページ目に「授乳室」とあるが、幾部屋くらい設置するのか。それと、来館者の方で具合が悪くなる方がいるかもしれない。図面上に「休養室」とあるのは、来館者用か。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

来館者用である。

授乳室は、同時に6人使用できるようになっているので十分と考えている。

【小林委員】

先ほどの説明の中で、5月か6月に契約ということだったが、特殊な建物なので、トップは大手ゼネコンで、あとは地元の共同企業体だと思う。建物自体は相当な額だが、地元業者への配慮というのはあるのか。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

できるだけ地元業者から入ってもらいたいと考えている。ただ、非常に大きな建物で、配管が複雑に絡み合い、水のプラントの工場みたいなものなので、国内の大

手の業者から力を借りることは必要だと思っている。特定共同企業体を利用し、地元の業者からは、企業体の構成員として直接、工事の中に入っていただきたいと考えている。大手の業者が元請で入ったとしても、下請でいろいろな業者が必要な場合は、下請にも地元の業者を使っただけのように、受注者に働きかけていきたいと思っている。

【小林委員】

地元業者の中からは、諦めの声も出てきているので、できるだけ配慮していただきたい。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

市では、この事業に関わらず、できるだけ地元の業者を採用するように設定している。

【今井委員】

新水族博物館を上越市の発信の場所にしていただきたいと思っている。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

承知した。

新水族博物館を整備するにあたり、一大集客施設という観光施設の面が強いので、今の意見は十分踏まえさせていただく。

【泉委員】

このような大型プロジェクトになると、模型を作ることが多いと思うが、その予定はあるか。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

今のところ模型を作る予定はないが、必要性も含め、検討している段階である。もし、皆様から要望が多ければ、設計がきちんと出来上がった段階で作ることも検討したい。

【泉委員】

是非、作っていただきたいと思う。

【増田会長】

市民の皆さんから理解していただくためには、パースが必要だと思う。是非、作っていただいて、大勢の人に理解してもらうことが必要だと思う。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

承知した。

【増田会長】

他に皆さんはいかがか。

(意見なし)

では、私から2, 3点。展示ホールとミュージアムショップがあるが、入場料を払わないと入れないような仕組みになっている。以前、ショップのことは、いろいろ考えていると聞いていたが、その辺の懸念があると思っている。

二つ目は、以前、市民の活動スペースを設けたいと言っていたが、いただいた資料にはないようなので、その考え方はどうなのか。

三点目は、「夕日の日本海」、「冬の荒波の日本海」というのは、非常に良い景色になっているが、この景色をレストランの誘客に利用できないのか。

関連で、隣に屋台会館があるが、屋台会館の活用方法を検討しているのか。今後の検討課題だと思うので、いろいろ考えていただければ良いと思っている。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

一点目のミュージアムショップが有料ゾーンに設置されている件については、水族館らしいイルカやペンギンのぬいぐるみ等を市内の方はもちろん、遠方からの来館者から有料ゾーンを経由してお帰りいただきたいと考えている。ワゴンを使い、無料ゾーンに設置することもできるので、地元の特産品やPRしたい物産品があれば、臨機応変に対応したい。「飲食スペース」と呼んでいるが、そこは、「アクアリウムサロン」ということで、食事をしない方も無料ゾーンとして気軽に出入りできるような形態にしたいと考えているので、市民活動など臨機応変に有効活用していただく場所にしたいと考えている。

二点目の市民活動スペースについては、「市民活動スペース」という名称の場所は設けていないが、展示スペースの中に特別展を開催するスペースを設けているので、そこを市民の皆さんの活動スペースとして利用することも可能だし、会議室も利用可能である。

そして、2階から見るプールの前にも、「イルカホール」という、かなり広いホールを設けてある。そこで結婚式を挙げたり、パーティーをしたりするスペースがある、使い方で仕切る可能性もあるが、市民の皆さんから有効活用してもらい、イベントやいろいろな活動をしていただけたらと思っている。

三点目の屋台会館、夕日とレストラン。複合的な活用方法についてだが、直江津区地域協議会をはじめ、地元の方と報告会や意見交換をすると、屋台会館や海浜公園も含めた活用方法について、いろいろなアドバイスをいただく。平成28年度に、周辺環境整備について専門業者から提言をいただく検討しているので、その提言を踏まえ、皆さ

んへお示しし、意見を聞き、出来るだけ素晴らしいものにしたいと考えている。

【増田会長】

他に何かあるか。

【今井委員】

先ほどの授乳室の件だが、「車に戻り授乳する人がいる」と言われたが、そういう方は一旦、水族館から出ると思う。再入場の際に、トラブルがないようにしていただきたい。

【新水族博物館整備課：大瀧課長】

今考えているのは、手に紫外線の光を当てないと見えないようなスタンプを押し、再入場の際に、ライトを照らして確認させていただくような再入館時のチェックを考えており、トラブルがないようにしたい。

【増田会長】

今、お話していただいたように、「いろいろな方から意見を聞く」ということを考えていただいている。特に交通対策、渋滞対策、周辺環境対策については、住民の皆さんを含めて、丁寧に進めて行かないと難しい点もあると思うので、それは、是非、お願いすることとし、今日は非常に細かい部分まで説明していただいた。

委員の皆さんからは、日頃、心配されている意見について、こと細かく意見を出していただいた。非常に中身のある意見交換になったのではないかと考えている。

以上で本件は終了とする。

— 新水族博物館整備課 退室 —

次に、議題【報告事項】公の施設使用料の減免制度の見直しについて、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

公の施設使用料の減免制度の見直しについては、昨年11月に開催した直江津区地域協議会において、行政改革推進課より説明をさせていただきました。

その後、市では、減免制度の見直しを行い、本年4月から運用を開始することとした。本日は、前回お示しした内容からの変更点と、減免団体の登録制について、補足説明をさせていただく。資料No.2を御覧いただきたい。

- ・資料No.2に基づき説明

【増田会長】

説明に対し、意見等を求める。

【田村雅春委員】

施設使用料の減免制度の中で、大きく変わった点は何か。

【荒木係長】

資料の別紙2に「地域の集会施設」とあるが、これは、地域の方が100%減免を受けられるということだが、他の区の方が施設利用する場合は、100%減免ではなくなる。地元住民から優先的に活用してもらおうということが変わった点である。

次に、登録団体である。減免対象にする団体を、改めて見直ししたということ。地縁組織や青少年関係、スポーツ団体をルールに基づいて、減免対象の基準を設けた。

登録期限は平成29年度末までとなり、2年間実施した結果、検証し、再度、見直しが出てくるのではないかと考えている。

【田村雅春委員】

資料に「地縁組織・町内会」と書いてあるが、実際に町内会の総会や会議で何度も使うのか。私の町内の会館はみんなでお金を出し合い、運営している。他町内では、何らかの事情があり、市の施設を借りたい、という方は結構いるのか。

【荒木係長】

回数までは把握していないが、言われたように会館がない町内会もある。町内会の会議だけではなく、町内会に属している団体等の利用の場合で、町内会として使用する場合は減免になる。会の中で、町内会名で申請するか、しないかは、町内会で整理が必要だと思うが、整理が為されれば、町内会の利用として減免対象になる。

【増田会長】

他に意見を求める。

(意見なし)

では、この件については終了とする。

次に【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

・資料No.3に基づき説明

【増田会長】

前回の会議は「第5次観光振興計画」内で、直江津のことが重点エリアに指定されたが、この計画の推進にあたり、私たちの思いを反映させようと意見書の「素案」を作成したので、意見書として出すかどうかの方向性を確認したいと思うが、いかがか。

【泉委員】

「意見書」提出について、私たちの立ち位置が分からない。私たちは、意見を言っ
ぱなしでもいいのか。行政はその意見を聞くだけなのか。

【増田会長】

「第5次観光振興計画」について、パブリックコメントが実施されていた。地域協議
会としてパブリックコメントに意見することはできないため、「意見書」として出そうと
いうことになった。パブリックコメントと同様、何らかの回答が返ってくるものと思う。

【泉委員】

「意見書」というものに対して、きちんと回答しなければならない、と提示されてい
るのか。

【荒木係長】

意見書に対しては、回答することになっている。意見書の内容を反映するかどうかは
市で協議し、「必要である」と認めた場合は、それなりの措置を講じることになる。

直江津区地域協議会として、第5次観光振興計画を後押しするため、意見書を出すか、
出さないかの協議をしているので、何かしら動きがあるかもしれない、ということ観
光振興課へは伝えてある。ただ、意見書の回答には時間を要するため、意見書として出
さなくても、「こういうことをやりたい」ということがあれば、担当課と意見交換するこ
とはありだと思う。

【泉委員】

第5次観光振興計画（案）が、完成するのはいつなのか。

【増田会長】

パブリックコメントの回答期限は概ね1か月以内となっており、今、担当課で一生懸
命やられていると思う。

【泉委員】

この計画（案）が出来つつあると思うが、何時までに、我々が思っていることを伝え
れば、これに反映されるのか。

先日、新水族博物館を活用した直江津のまちづくりの取組について、意見書を提出し
たが、その中で改めて気になった部分がある。本日、新水族博物館整備課からの説明の
中で、皆さんが随分心配されていた、直江津中等教育学校前の横断歩道。信号機につい
て、意見書には、「直江津中等教育学校前の横断歩道に既設の信号機と連動した手押し信

号機を設置するか、若しくは、校門前の横断歩道をなくし、北側の信号機のある横断歩道を利用する」と書いてある。これは、子どものことを考えたら、わざわざ我々が言うべきことではないであろうと感じた。当会の進め方について、拙速すぎて、このような文章になってしまったのではないか、ということを感じて、あえて言っている。

計画（案）もそうである。もうすぐにでも締め切りであったら、この会で揉んで、出すべきものは出さなければならないだろうし、そうでなければ、急ぐ意味はどこにあるのか。

【増田会長】

急ぐ意味は、観光振興計画のパブリックコメントと、私たちが出す意見書とを併せて考えてほしいためであり、なるべく早めに出したい。

【泉委員】

タイムリミットは何時なのか。

【荒木係長】

2月から、観光振興計画のパブリックコメントが始まり、締め切りが3月1日だった。そこから1か月以内には回答を出さなければいけない。その回答は、観光振興課で、ほぼ、固まっている段階だと思う。観光振興計画（案）の中身を変えたいということであれば、個人的にパブリックコメントを出していただく。地域協議会として意見を出すことは出来ないため、計画を変えるということではなく、計画を後押しするということがある。細かいことまで計画（案）に盛り込むことはできないが、「直江津区としてこういうことが大事だと考えているので、ぜひ計画を推進していただきたい」というのが、よろしいのではないかと考えている。パブリックコメントの回答時期と合せるかどうかというのは、委員協議で決めていただきたい。

【田村雅春委員】

以前、新水族博物館を活用した直江津のまちづくりの取組について、各班の班長と観光振興課で意見交換をした際、観光振興計画を後押しをするためには、意見書で出したほうが良いということをお話したと思う。

【泉委員】

私の中では、意見書を出す前に、もう少し内容を揉んだほうが良いと思っている。

【増田会長】

内容を揉むというのは、どういう意味か。

【泉委員】

意見書として出すのであれば、中身について話してほしい。そして、タイムリミットがあるのであれば、それに合わせてやらなければいけないし、それも教えてほしい。

【増田会長】

時期の問題は、今、事務局から説明があったとおりである。

【泉委員】

では、今の話から行くと、意見書は出さなくてもいいということになる。計画（案）を実行するために、我々がどうするかではないのか。私の中では、出す意味が不明である。

【田村雅春委員】

今さら、そんなこと言われても困る。

【小林委員】

第5次観光振興計画（案）が示されているが、これは、あくまでも、これからの4か年の総論で、こういう方向性で考えて政策をしていきたい、ということである。できないものや時間が掛かるものもある。市が考えている各論の中で、素案にあるものをきちんと直江津区地域協議会として提案したい。それを見ながら各論の肉付けをお願いしたいという意味だと、私は捉えている。

【泉委員】

資料No.3と同じような文言が計画（案）に入っていると思う。

【今井委員】

そういうふうに言われるなら、個人、個人がパブリックコメントを出せば良かったのではないかと思う。だが、直江津区地域協議会として意見書を出すということなので、今からでも、盛り込んでほしいということがあれば、付け足ししても良いのではないか。

【町屋委員】

泉委員が言うことも分かる。意見書を出して、整合性としてどうなのか。私の中での捉え方だが、意見書を出すことに意味がある。というよりも、これを作成した上で、そこ一体となる、我々の行動指針であり、細則としては、とても意味があると思っている。ただ、泉委員が言うように、市に意見をして、観光振興課としては、そんなに具体的な回答はないと思っている。

【泉委員】

意見書を出すために、意見交換や議論をもっとやりたいと思った。やり足りない。

【丸山委員】

素案の内容について話をしたい。資料No.3の「強調して発信する歴史資産、文化資産等」の『①五智の歴史』とあるが、「五智」で一まとめにするのではなく、国分寺や親鸞聖人等、たくさんあるので、それを付け加えていただきたい。何故かと言うと「⑪大日如来像」だけが、記載されているので、私としては、これから議論するにしても、市がどのように考えるにしても、一つずつ出してもらったほうが良いと思う。

【増田会長】

国分寺には何を付けるか。

【丸山委員】

「親鸞聖人の歴史」である。

【田村雅春委員】

泉委員の話は前に戻ってしまっている。この問題については、今後も論議する必要があると思う。いろいろ細かいことまで話し合いをして詰めていき、固まってから意見書を出すのだと思う。意見書を出すことは問題ない。

【今井委員】

私は、意見書を出すということで、今日は議論するのだろうと思い出席した。

【増田会長】

本日案内には、「この件について協議するので目を通しておいってください」と書いてあるので、今日のこの場は、先ほど丸山委員が言ったような文言を補強するような意見を出していただきたい。

【泉委員】

今、3月なので、意見書というものに固執してほしくない、ということである。

【青山副会長】

資料No.3の【具体的な取り組み】中で、『直江津区観光振興市民会議』とあるが、どういう団体が入っているのか。そして、誰がまとめているのか。

【田村雅春委員】

この団体は個人が加盟しているのか、団体が加盟しているのか。併せて教えていただきたい。

【増田会長】

「観光振興ファンクラブ的性格として賛同する人は全員会員になってもらい、観光振興の企画と実行の担い手になってもらう。運営は民で行う」と記載があるが、これは、民間が主導でやりませんか。という趣旨であり、運営は、集まった人たちで話し合っ、やりましょう、という発想であるため、団体ではなく、個人である。

【町屋委員】

これは、あくまでも市に対する私たちの意見なので、市に提案しているということである。

【増田会長】

市に対して、態度表明をするということである。これができるか、できないかは別問題だが、この中には、短・中・長期のものが、全て盛り込んである。今後については、行政と話し合いをしながら、場合によっては、地域協議会主導で市民の皆さんと話し合わなければいけないことも出てくると思う。進め方はそうなるが、とりあえずは、町屋委員が言われたように、協議会としての考え方を市に分かってもらうために、意見書としてまとめて出しましょう、という趣旨である。

【町屋委員】

例えば、「直江津の魅力を発信する」というのも、「直江津の魅力発信してほしい、作成すべきだ」とか、そういうニュアンスにするのはどうか。

【増田会長】

そういうニュアンスである。「あれしてほしい、これしてほしい」と書かなかったのは、観光振興計画（案）を補強する立場なので、そのように書かなかった。

【池田委員】

資料No.3の「強調して発信する歴史資産、文化資産等」だが、「国分寺」、「居多神社」、「親鸞聖人」、「御館跡」、「春日山城址への案内」も載せていただきたい。

【増田会長】

「直江津区の観光振興」という立場で、直江津区内にあるものについて、的を絞って書いたつもりである。

【池田委員】

水族館について、3階からの山並みの景観。これも大事な眺望だと思う。

【田村雅春委員】

今日、これは、簡潔にやらなければいけないのか。もう間に合わないのか。

【増田会長】

皆さんの意向があれば、3月中に再度、協議会を開催したい。

【小林委員】

「水族館を核としたまちづくり」の協議は、取組を短・中・長期に分け、まず、短期のものを提示してきた。内容は、ほぼそれを踏襲しているだけであり、再度、意見を言っても仕方がない。同じような形で、再度意見書を出すということで良いのではないか。

【田村雅春委員】

「直江津区観光振興市民会議」の記載は、なかった。

【小林委員】

こういうものを作っていくためには、行政だけではなく、一人ひとりが、そういう意識を持ち、取組んでいきましょう、という意味での民事会議かなと思っている。ただ、立ち上げるのは、なかなか難しいと思っている。

【増田会長】

全くそのとおりである。

【中澤委員】

このまま論議を続けていいのなら、話したいことがある。

【荒木係長】

提案としては、この意見書（案）を見て協議するのは、今日は初めてであり、内容を承知していない方がいるのに、これをこのまま出すのは、まだ早すぎるのではないかと考えている。再度、個人で内容を確認いただき、改めて協議する場が必要だと思うが、いかがか。

【増田会長】

確認だが、協議が必要なのか、この素案に補足意見を出していただき、素案に書き加えるだけなのか。もし、協議が必要であれば、あまり時間がないので、すぐにでも開催したいと考えている。皆さんはどうか。

【田村雅春委員】

そんなに、意見書を出す期限が迫っているのか。

【増田会長】

パブリックコメントを取りまとめ、回答が来るのが、4月上旬になるだろうから、出来れば、観光振興計画（案）を補強する、という立場から、一緒の場で考えてほしいと

いう部分で出すということである。今、そういう話題があるので、連動して出そうという思惑がある。

【中澤委員】

再度、開催するというのは、日程的に、難しいのではないか。例えば、個人、個人で見てもらい、期限を決めて意見を出してもらう、というのはどうか。

【竹内副会長】

私はこの資料を見た時、方向性を含め、協議するための資料だと思っていた。報告事項の話し合いが長かったので仕方がないが、できればこちらを、もう少し重点的に協議してほしかった。日程が限られているが、何とか、皆さんで集まって、細かく読み、じっくりとやるというのが、協議会の意味でもある。協議会として意見書を出すので、もう少し協議する機会があったほうが良いと思っている。

【町屋委員】

私も竹内副会長の意見に賛成である。資料を読んで、違和感を持つ所がない訳ではないが、中澤委員が言ったように、後から意見を言ってもらうということになると、足し前はあっても、出てきたものを全て受け入れて、それを論じる所がなくなってしまう恐れがあるので、議論無くして、次のステップに進むことに賛成はしない。

【中澤委員】

このような意見が1人でも出たら、開催したほうがいいのではないか。

【泉委員】

私は、こういう場が欲しい。

【増田会長】

それにしては、「事前に意見をください」という時に意見が出てこない。今回も、「目を通してきてください」と言っても具体的な意見がなく、それで協議がないと言っているのはいかがかと思う。皆さんが意見を言う機会は十分あると思うので、じっくり考えていただきたい。

私的には、再度、協議会を開催することに異論はない。日取りを決めて開催したいと思う。

【泉委員】

会長が言っているのは、非常に核心を突いていると思う。我々が成長し、意に添うにするという段取りをしなければいけない。

【小林委員】

この後、資料No.4についての説明もあると思うが、そこも含めて次回にやっていただくというのはどうか。

【関川センター長】

会長から「来週も」というお話があったが、次回協議会を4月中旬ころに開催したいと考えていた。だが、今日、出てきた意見を含め、再度、皆さんで目を通していただき、事務局に意見をいただき、それを集約する。という流れにするならば、出来れば、2週間後くらいにさせていただきたいと考えているが、いかがか。

【田村雅春委員】

事務局に意見を提出しないで、その場で揉むというのはどうなのか。そうすると、1週間後くらいに開催できないか。

【今井委員】

議論した意見を事務局に整理していただいたほうが早いのではないか。

【増田会長】

田村雅春委員から意見があったように、皆さんで意見を持ち寄り、この場でも出し合って、一定の物をまとめる。どのようにまとめるかの方向性だけだと思うので、それで十分できるのではないかと思う。

では、協議会を開催することに賛成の方は挙手願いたい。

(賛成多数)

では、日程の確認をしたいと思う。

— 日程調整 — (休憩を取り、このまま再度協議会を続けるかも含めて審議)

・次回協議会：3月31日(木)午後5時～

【小林委員】

パブリックコメントは終わっているが、地域協議会でまとめ、意見書を提出することは、十分意義があると思っている。

【増田会長】

意見書は、あくまでも、直江津の取組をもっと細かく丁寧にやろうということであり、いずれにしても、観光振興課を含め、連携していくことが必要だと思っているので、そういうことは、やり損はないのではないかと思っている。

— 任期中の今後の予定について話し合い —

次期委員の応募状況について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・次期委員の応募状況について説明

【増田会長】

なるべく欠員が出ないように努力していきたいと思っている。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。